

広報第69号



SUNSHINE-VILLA 第2サンシャインビラ

第69号
社会福祉法人
福陽会
第2サンシャインビラ
東京都福生市福生
3244-10
TEL 042-553-3701
編集 広報委員会



敬老のお祝い 9月24日

理事長祝辞
令和四年度の敬老の日、皆様のご健勝な様子を拝ら嬉しく思います。
今年は二月よりロシアに、平和であり、このように晴ることは、幸せなことだとの昭和時代から、日本を平た多大なるご尽力に對して



佐々木施設長 ・ 田村統括施設長



福島・島田・井上各相談員（左から）



施設という社会の中で



4階 生活相談員

福島 由美

施設でのご面会に於ける新型コロナウイルス感染症予防対策につきましては、日頃から温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。

施設内では、ご家族様との面会制限、クラブ活動や外出支援の休止等、生活が一変してしまいました。そんな中でも、懐メロを口ずさむ方、リハビリに励む方、一生懸命たたみ物を手伝ってくださる方、新聞に目を通し次の方に車いすで届ける方、以前と変わりないそれぞれの時間を楽しむ姿が見られます。

反面、人それぞれ価値観が違うように騒音や妨害、お風呂の順番、許容範囲の相違等、集団生活の中でのギクシャクなどがあります。私たちの生活に於いても同様なことはあり得ますから。多少の波風は心が生

きている事に他ならないと思い、生活相談員として日々対応に励む毎日でもあります。

そうは言っても、長年共に生活する仲間。お互いの体調を気にかけて、認知症の進行等で状態が悪くなつたことを察すると、ひどく心配し、励ましたり、お世話をしようとしたり・・・。

第2サンシャインビラという小さな社会の中で、人間らしく、自分らしく喜怒哀楽を共にしながら生活される利用者の皆様。たまの言い合いもクレームもとても誇らしく思えてきます。集団生活の場ではどうしても我慢することが多くなりがちです。だからこそ、一人ひとりのこだわり（個性）を大事にすると共に、一人ひとりが言いたいことが言える環境をこれからもずっと守っていききたいと思っています。



季節を感じる大切さ：



2階 介護リーダー

田中 佳代

今年も盆踊り、夏祭り、花火などの夏の行事が身近でも少なくなっています。

施設内、フロア内で少しでも夏を楽しんで頂けるようレクリエーションを工夫しています。七夕の短冊飾り、アイスクリームのおやつ、花火大会の映像、冷やし中華、そうめん、スイカなど夏を感じる催しを取り入れました。

これからだんだんと涼しくなり、秋の楽しみを考えています。文化祭ハロウインの飾り、窓から見える木々の紅葉、焼き芋のおやつなど利用者様と一緒に秋を感じる楽しみが沢山あることに気づきました。利用者様の人生に日本の四季は大きく関わっていると思います。これからも季節を感じる暮らしを大切にして行きたいと思っています。



「希望と笑顔」



2階介護職員

斎藤 広文

まだまだ新型コロナウイルス感染症が落ち着かない中、利用者様には日々希望と笑顔の絶えない生活を送っていただけるよう、心掛けております。

時間のある時は、動画を利用し、リハビリ体操、合唱を取り入れた声を出しながらの体操をしています。体力や可動域の広がり、喉の機能向上などいろいろ役に立つことが多くあると思います。昔懐かしい歌を皆さんで歌っていると、自然に心が弾み笑顔が見られます。

外出の機会はほとんどありませんが、それ以上の活気と満足できる気持ちを持つて頂けるよう日々努力して行きたいと思っています。利用者様の笑顔に自分自身元気をもらい、励まされているように感じます。改めて利用者様ありがとうございます。頑張りますので宜しくお願い致します。

介護職を選んだ訳



3階 介護職員

市川 貴康

昨年の9月末に第2サンシャインビラに入職し、一年になります。前職は自動車メーカーに長年勤めておりましたが、自己都合で退職しました。介護の仕事を選んだ理由ですが、幼い頃から両親が共働きで祖父母によく面倒を見てもらいました。そんな祖父母は既に他界してありますが、今から約二十年前に祖母の認知症がかなり進んでしまい、介護施設に入所する事となりました。その為、親と一緒に面会や施設の夏祭りに行ったりもしました。そのような状況で職員さん達の利用者様に対する接し方や、仕事ぶりに感激を受けずっと興味を持っておりました。そしてこの退職を機に介護職へと転職を決めました。

しかし、介護はとても奥の深い仕事で毎日が勉強の日々です。早く一人前になれる様努めて参りたいと思います。宜しくお願い致します。

相撲大好きな二人
楽しそう！

夏が来ると...



3階 介護職員

前田 睦美

今年も一年の四分の三が過ぎてしまいました。今年の夏は、朝の内から暑く、朝食のお茶出しの際に『今日も暑いので沢山飲んでください』と声を掛けるのが定番になるほどでした。

私事ですが、去年の夏に叔父が他界しました。長崎に住んでいた頃、兄の手術の為に私は叔父の家に一、二か月程お世話になっていた時期もあり、訃報を聞いた際は悲しみにくれました。コロナ禍ということもあり行くことも出来ず、先延ばしになっていきます。いつか、いける時が来たら感謝の気持ちを伝えるに行こうと思っています。

今後共、利用者様が楽しみ、安心して生活して頂けるよう、頑張つてまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。



利用者様の生活



4階 介護リーダー

細谷 誠

現在コロナ禍の中で、ご家族様としては面会が出来ない状況で、施設で元気に暮らせているのか等、ご心配されている事と思います。

フロアに於いては、日々利用者様の検温をして、普段と違う変化が無いか声掛けや動作等の観察を行っております。毎日楽しく過ごして頂けるように、レクリエーションやコミュニケーションを図っております。

利用者様の変化に気付いた際は、直ちに医務報告を行いながら経過観察を行います。医務では処置や状況により病院の医師へ説明と指示を仰ぎ対応を行います。医務、相談員によりご家族様へ連絡を行っております。

また、外出等活動が行えない為、利用者様の筋力低下、廃用症候群予防としてリハビリ担当や、厨房では食事を美味しく食べて頂ける工夫など各部署連携を行

っております。利用者様に安心・安全な生活を送って頂けるようこれからも、情報共有を図り、連携をして介護に努めたいと思います。



私にとっての介護とは



4階 介護職員

本田 大輝

私にとっての介護とは利用者様やご家族様の想いをサポートすることだと思っています。入所されている方は心の中で思っている事があっても自ら話してくださる方は少ないです。一番関わる時間の長い介護職員が本人の想いを引き出し、それをできる限り叶えられる様、様々な職種が連携し、支援を行います。その為には、各職員が利用者様の事を深く理解し、信頼関係を築いていく必要があります。

私もスキルアップをする為に、知識や技術を学び、経験を積んでいく事が大切だと感じました。これからもよろしく願います。





デイサービス



7月29日
納涼 盆踊り大会



生き生きとして活動に参加「楽し〜い！！」



「邁進」



厨房スタッフ

金子 涼太

入職して一年半が経ちました。以前の仕事も特養施設での食事作りでしたので、業務内容はほとんど変わらないものの仕事の流れや、やり方などは多少違いがあるものです。まず、覚えなければならぬ細かい作業が多く、必死についていく毎日です。

しかし、新しい事や上手くなった時など、自分が成長しているんだなと感じられる場面が沢山あり、とてもやりがいのある仕事だと思っています。また、利用者様に『ご馳走様、美味しかった』と言われるのが、この仕事をしていてとても良かったと思える瞬間でもあります。

私は高校卒業後、料理が好きという漠然とした理由で福祉施設に就職しました。以前の職場では、自分と歳が近い人がほとんどいなかった為、相談する人や他愛もない世間話などをする人がいなくて苦勞しました。けれど、当施設の先輩方は

年齢に関係なく、相談や有意義な話など気軽に出来る為、仕事はもちろんのこと、とても楽しい日々を送ることが出来ています。

私はまだまだ分からないことがある若輩者ですが、経験豊富な先輩方に早く追いつけるよう日々精進していきたいと思っています。そして、厨房の職員と一緒に、これからも利用者様に安心で美味しい食事づくりをして行きたいと思っています。宜しくお願い致します。



9/23 家族介護者教室開催
(5F ホール)

編集後記

秋分の日といえば昼夜の長さが同じ。彼岸の中日でもあり、このあたりから季節の変わり目を感じる頃。先祖供養のお供え物としては「おはぎ」が定番のようです。「おはぎ」とはステキな名前をつけたいものです。日本人の心の豊かさを感じる四季折々の言葉。これからも大事にして行きたい言葉の一つだと思います。

まだまだ予断を許さない状況ですが、季節を感じて頂ける生活の支援、昔から知っている空の色、風の音、日の光に親しめる支援が、早く出来るようになったらいいと思います。

これからも
ご愛読よろしく
お願い致します。

(室賀)



社会福祉法人
福陽会

特別養護老人ホーム

第2サンシャインビラ

〒197-0011

東京都福生市福生

3244-10

TEL 042-553-3701

FAX 042-553-3715

<http://www.fukuyokai.or.jp>